

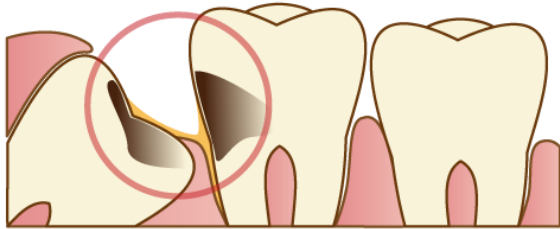


抜いた方が**良い親知らず**は？



どんな**親知らず**が抜いたほうがいいのか？代表的なパターンを紹介します。

①隣の歯を虫歯にしている



- ・親知らずが傾いて生えていて、手前の歯とぶつかったところに虫歯がある場合。
- ・親知らずがぶつかっているところは食べかすが挟まりやすく、歯ブラシも届かないため、虫歯になるリスクが非常に高い。

②歯ぐきに炎症を起こしている



- ・中途半端に顔を出した親知らずと歯ぐきのすきまには、食べかすが溜まり、炎症が起きて、歯ぐきが腫れたり出血しやすい。

親知らずはあごの一番奥にあるため、咀嚼筋(あごを動かす筋肉)やのど、あごの下へと細菌感染が広がりやすいのです。

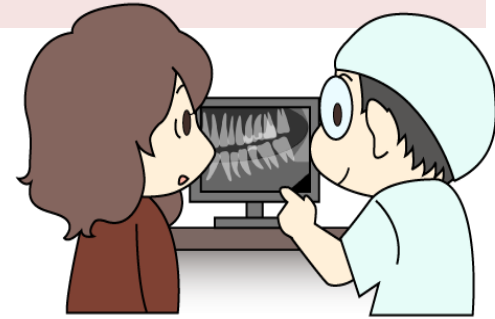


③隣の歯の根が吸収している



- ・横に倒れて生えた親知らずが前の歯の根に食い込み、根の部分的な吸収を起こす。
- ・自覚症状がほとんどなく、あごの骨の中で起きているのでレントゲンを撮ってはじめてわかる。

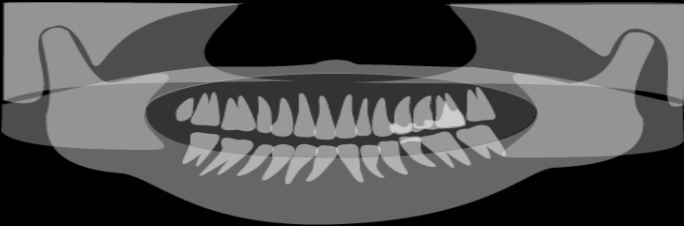
安心して親知らずを抜くために



☆パノラマレントゲンを撮ります
(口全体の写真)

☆場合によってはCT検査をします

親知らずの生え方を調べます。



親知らずの近くには神経や血管が通っています。

神経の正確な位置
を事前に把握します。

